

株主通信

第73期事業報告書

平成29年1月1日～平成29年12月31日

表紙イラスト：わたしの花々 作：macco
心の中に咲く祝福された美しい花々を表現しました。
それは希望、夢、やさしさです。

macco さん：プロフィール



京都市在住イラストレーター。
エディトリアル、広告等で活動中。
得意とするのはガーリーで幸福感のある世界。
音楽と犬が大好き。

WEB site : <http://www.maccomac.com/>

株式会社 千趣会

証券コード：8165



株主の皆様へ

通信販売事業の再生を目指して構造改革を実施していきます

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成29年12月31日をもちまして、第73期(平成29年1月1日から平成29年12月31日)の事業年度を終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

平成29年度の売上高は、通信販売事業における減収のため、1,259億99百万円、営業損失は42億87百万円となりました。

通信販売市場がますますEC主体になり競争環境も厳しさが増す中、当社は2018年を最終年度とする中長期経営計画を取り下げました。そして早期の業績回復を実現するため、10月に2018年から2020年までの3か年中期経営計画を新たに策定し実行に着手しております。

まずは平成30年度の通信販売事業の黒字化を目指すとともに、ますます多様化する消費者のニーズに対応すべく、網羅的な品揃えを指向する総合通販型のビジネスモデルから、特定のターゲットに絞った専門的な品揃えを指向する専門店を複数持つ専門店

集積型のビジネスモデルに変革を行います。そのために平成29年度中には、経営合理化の観点から、希望退職者募集や機能子会社の規模適正化による構造改革を実施いたしました。

今後も新しい中期経営計画に伴い、ベルメゾン事業の利益率改善や販売チャネル戦略・販促施策の見直しなどを行っていくことにより2018年には連結営業利益を16億円、2020年には35億円を達成するべく取り組んでまいります。

平成29年期末配当につきましては、純損失を計上したことから誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。株主の皆様には大変申し訳なく心からお詫び申し上げます。

千趣会はこれからも「ウーマン スマイル カンパニー」(女性を笑顔にする会社)であり続けます。

株主の皆様からの信頼回復と一刻も早い復配に向け奮励努力してまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

代表取締役社長

星野 裕 幸

2018年を最終年度とする中長期経営計画については、競争環境・市場の変化と現状を鑑みた結果、昨年取り下げました。新たな経営目標として2017年10月に2020年を最終年度とする中期経営計画(2018-2020)を改めて策定いたしました。

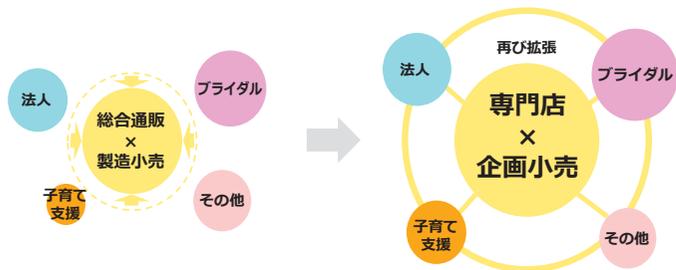
ベルメゾンの事業再生とグループ事業の拡大によって、再成長を目指します。

これまでの総合的に商品を取り扱うビジネスから、ターゲット・提供価値を絞った専門性が高いビジネスユニット(専門店)を複数構築し、多様化するマーケットに選択・集中的に対応する「専門店集積型」のビジネスに転換してまいります。その上で、各専門店がグループ会社とのシナジーも含め、各自のマーケットにふさわしいビジネスモデルを構築し、売上・利益の拡大を目指してまいります。

また専門領域を設定することで、これまで散漫になってしまっていた、当社のDNAである「企画力」を集結させ、より差別化された提供価値の創造にも邁進してまいります。

(現状)
 ・“総合通販×製造小売”事業は“年々縮小”
 ・事業間シナジーは“未創出”

(今後)
 ・“専門化”と“企画小売化”により再拡張
 ・事業間シナジーを“創出”



グループ全体の経営計画

2020年度目標

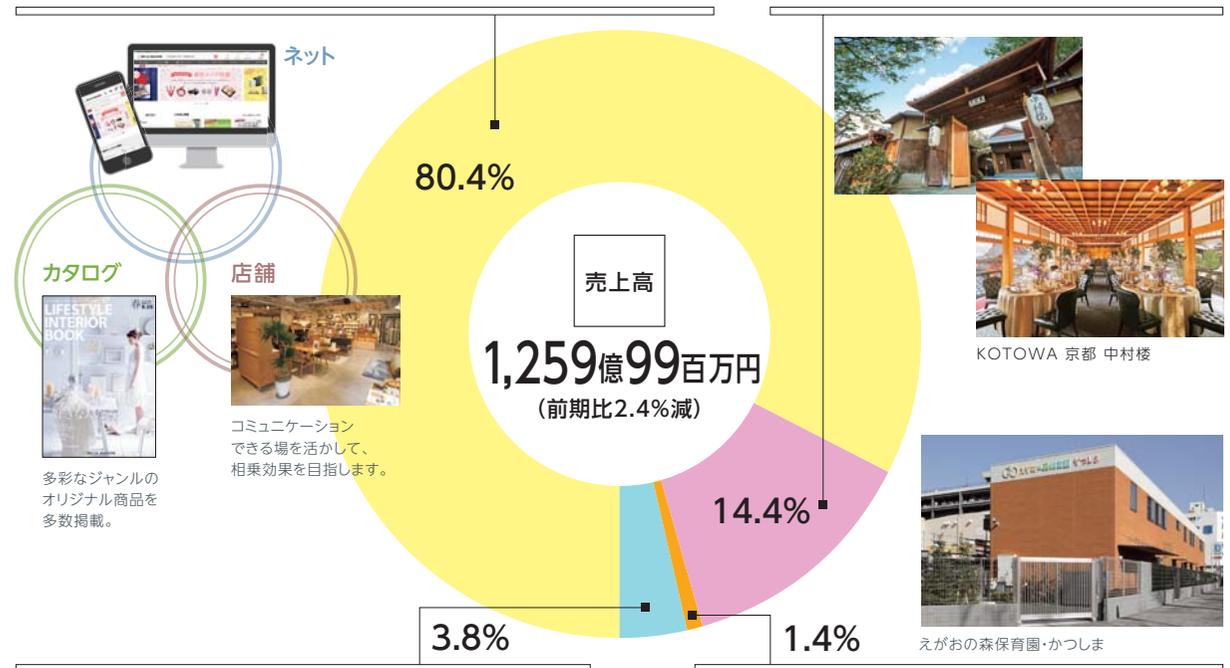
売上高	1,290億円
営業利益	35億円
親会社株主に帰属する当期純利益	30億円
自己資本当期純利益率(ROE)	6.6%

通信販売事業

売上高 **1,012億79**百万円
(前期比5.0%減)

ECをメインとした体制の強化、調達戦略の見直し、利益率改善に取り組み、収益力を回復してまいります。

- シェアの高い衣料品などの主要なジャンルで、売上高が前期から減少。
- カタログの費用を中心とした販売費及び一般管理費の削減等に取り組むも、売上高の減少を補うまでには至らず、57億7百万円の営業損失。



法人事業

売上高 **48億33**百万円
(前期比5.6%増)

EC通販市場の拡大に合わせて通販受託ビジネスの展開を強化してまいります。

- 物流コールセンター業務受託の増加に伴い、売上高は前期から増加。
- 前期比27.3%減、3億75百万円の営業利益。

ブライダル事業

売上高 **181億32**百万円
(前期比7.8%増)

業界のリーディングカンパニーとして、それぞれの強みを活かし、総力で市場を開拓してまいります。

- 既存店舗を中心に売上を伸ばし前期から増加。
- 利益面は各店舗効率化を高め、前期比28.2%増の9億63百万円の営業利益。



KOTOWA 京都 中村楼



えがの森保育園・かつしま

[当期の概況]

当連結会計年度の売上高は、通信販売事業における減収のため、1,259億99百万円となりました。利益面に関しましては、在庫について販売商品の適時値下げを実施し、消化率向上を図る等の在庫管理方針から商品評価損等が増加、営業損失は42億87百万円となりました。経常損失は42億6百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は減損損失及び希望退職の実施に伴う特別退職金の計上等により110億90百万円となりました。

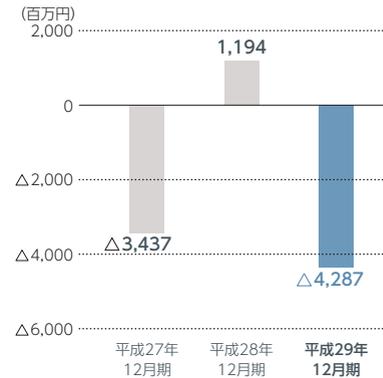
[次期の見通し]

次期につきましては、景況感は回復基調にありますが、消費者の節約志向は続き、厳しい環境が続いております。このような環境の中、通信販売事業における不採算ジャンルの縮小による利益改善、調達戦略の見直しや適時値下げ実施等による売上総利益率改善、カタログ配布やポイント・値引戦略の抜本的見直しによるカタログ費用及び販売促進費の削減・効率化に取り組んでおり、収益力の回復、経営基盤の強化に、より一層努めてまいります。以上により、次期の業績につきましては、売上高1,240億円、営業利益16億円、経常利益19億円、親会社株主に帰属する当期純利益は14億円になる見通しです。

売上高



営業利益



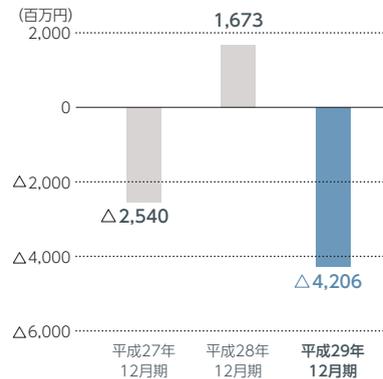
総資産



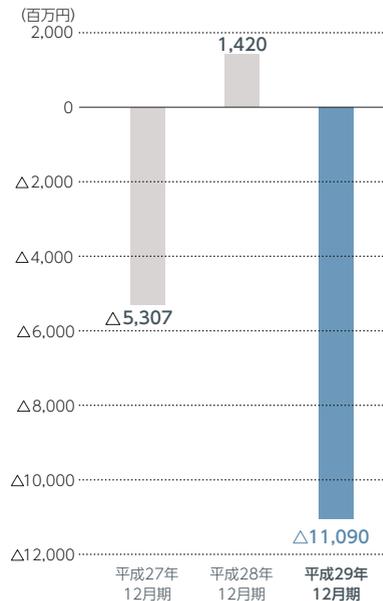
純資産



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり純資産



自己資本比率



1株当たり配当金

当期の期末配当金につきましては、純損失を計上したことから誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。また、次期の配当金につきましては、中期経営計画の推進と、経営の安定性・安全性の観点より自己資本の拡充を最優先し、中間配当は無配、期末配当は未定とさせていただきます。



お客様との社会貢献活動「えがおの森基金」が 累計1億4千万円を突破。

「お客様と一緒に。みんなを笑顔に」をスローガンに2013年度より開始した社会貢献活動のための「えがおの森基金」はお客様の支持を得て累計1億4千万円を突破いたしました。

(145,061,419円、2017年12月31日現在)

その中の1つ、「ハハトプロジェクト」では「東北のお母さんと子どもたちを笑顔にする震災復興活動として、2013年より東北4県(青森・岩手・宮城・福島)の新しい命に「オリジナルおくるみ」をプレゼントしてきました。

産院や子育て支援団体を通じ、4年間で累計33,591枚を配布しました。

<http://www.egaono-mori.jp/kikin/>



乳がん経験者向けブランド「Be Ribbon(ビーリボン)」 頭髪が気になる治療中の方向けオリジナル開発 “ケア帽子”を販売開始

当社は2007年よりピンクリボン運動を活動しておりますが、2015年からは乳がん検診促進活動に加え、乳がん経験者の支援活動を開始しています。2016年に乳がん経験者向け商品ブランド「ビーリボン」の第一弾として「ブラジャー」と「バッグ」を企画開発いたしました。

また乳がん治療中において脱毛に関するお悩みも多かったことから、2017年12月に第二弾の商品「ケア帽子」を開発しました。開発の過程において、乳がん経験者の方々に実際に商品サンプルを見ていただきアンケートを実施。「病気であっても特別ではなく、いつも通り過ごしたい」というご意見を受けとめ、療養中の方でもそうでない方でも、使っていたいただきやすいデザイン・見た目という点にこだわった商品です。



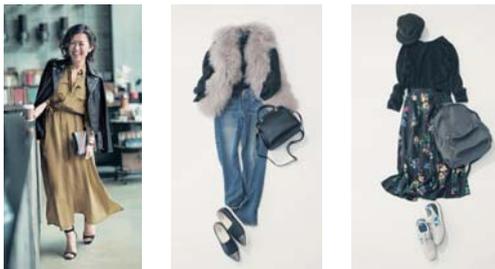
日本初!女性に特化した資産運用オンライン講座 「女神のマネー学」サービス開始

8月8日、日本初となる女性に特化したパーソナルファイナンス通信教育サービス「女神のマネー学」を開始しました。“好き。だから知りたいお金のこと。”をコンセプトに、女性のライフスタイル・ライフステージにあわせ貯蓄や家計管理といった身近な生活のお金から、資産運用、キャリア、将来を豊かにするお金の使い方までを学べるeラーニングを基軸にした講座を展開、イメージキャラクターに雛形あきこさんを起用し、WEB限定CM、新聞・雑誌広告ほかラジオNIKKEI第1で「女神のマネー学」番組放送を行うなど積極的なクロスメディアプロモーションも実施しました。



スタイルノート×ミモレ StyleNote x mi-mollet ミモレ編集長・大草直子さんとの コラボアイテム販売開始

9月1日、ファッションカタログ「Style Note(スタイルノート)」において、講談社のウェブマガジンmi-mollet(ミモレ)編集長・大草直子さんとのコラボレーションによるファッションアイテムの販売を開始しました。大草さんによる全アイテムのデザイン監修のもと、働く30~40代女性に向けた「新・定番アイテム12」を販売し、ベルメゾンネット、ミモレサイト、カタログにおいて情報連携し、それぞれ相互送客を実施。想定を超える新規のお客様からの購入実績をあげるなど好評を得ました。



ホットコット ~セイン・カミュ I am ジェントル綿~ WEB限定CM配信開始

10月19日、秋冬の主力商品綿混発熱インナー「Hotcott®(ホットコット)」のプロモーション活動の一環として、セイン・カミュさん出演によるWEB限定CM「I am ジェントル綿(メン)。」の配信を実施しました。「I am ジェントル綿(メン)。」をキャッチコピーに、セイン・カミュさん扮するホットコットの妖精「ジェントル綿」の包容力で、ホットコットのあたたかさやデリケートな冬の肌へのやさしさを表現。人気インターネットテレビ局で繰り返し配信され話題になるなど反響も大きく、新規のお客様の獲得や売上向上に繋がりました。



ベルメゾンライフスタイリング 堀江 &グルメスタジオフーバー グランドオープン

11月1日、大阪市堀江にベルメゾン初の“実感・体感型”インテリアショップ「ベルメゾンライフスタイリング 堀江」と料理&グルメ上級者向けの新タイプフードスタジオ「グルメスタジオフーバー」がグランドオープンしました。

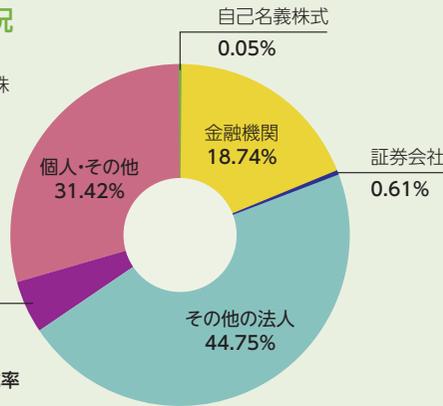
「ベルメゾンライフスタイリング 堀江」は、ベルメゾン商品の展示販売のほか、インテリア相談窓口でのVR(仮想現実)によるインテリア選びのコンサルティング体験が可能で、“リアル”な商品やライフスタイルの魅力を実感できる体験型インテリアショップ。また、「グルメスタジオフーバー」は、有名シェフや専門家の指導による上級者向け料理教室を開催するほか、イベント、スタジオレンタルなどの事業展開を行っています。今回の店舗オープンにより、ベルメゾンの認知拡大を促進し、よりお客様の声を活かした商品開発やサービスの提供に努めます。



BELLE MAISON LIFESTYLING (ベルメゾンライフスタイリング)の堀江
Gourmet Studio FOOVER (グルメスタジオフーバー)

株式の状況

発行可能株式総数
180,000,000株
発行済株式総数
52,230,393株
株主数
35,337名



大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
1 J.フロント リテイリング 株式会社	11,815	22.63
2 株式会社 プレストシーブ	3,650	6.99
3 凸版印刷 株式会社	1,838	3.52
4 株式会社 三井住友銀行	1,665	3.19
5 大日本印刷 株式会社	1,511	2.90
6 株式会社 みずほ銀行	1,119	2.15
7 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口)	791	1.52
8 日本生命保険相互会社	790	1.51
9 千趣会グループ従業員持株会	774	1.48
10 株式会社 三菱東京UFJ銀行	752	1.44

会社概要

商号 株式会社 千趣会
 英文名 SENSHUKAI CO.,LTD.
 ホームページ <http://www.senshukai.co.jp>
 本社 大阪市北区同心一丁目8番9号
 東京本社 東京都品川区北品川五丁目9番11号 大崎MTビル12・13階
 設立 昭和30年11月
 資本金 22,304,934,244円
 従業員数 799名
 連結従業員数 1,994名

関係会社 主な連結子会社及び事業内容

(株)ディアーズ・ブレイン	本社 東京都港区	ブライダル事業
(株)フィールライフ	本社 大阪市北区	通信販売事業
(株)モバコレ	本社 東京都品川区	通信販売事業
千趣ロジスコ(株)	本社 兵庫県西宮市	物流システム業
千趣会コールセンター(株)	本社 大阪市北区	テレマーケティング業

役員 (平成30年3月30日現在)

代表取締役社長 星野 裕幸
 常務取締役 杉浦 恒一※
 取締役 梶原 健司※ 内藤 剛志※ 石田 晃一※ 小川 佳洋※
 池田 英之 寺川 尚人 青山 直美 中桐 悟
 監査役 前田 政則(常勤) 北原 義春(常勤)
 小泉 英之 森本 宏 中野 創
 執行役員 稲田 佳央 岡田 正幸 井阪 義昭 三村 克人

(注)1. 取締役のうち寺川尚人、青山直美、中桐悟、の各氏は社外取締役です。
 2. 監査役のうち小泉英之、森本宏、中野創、の各氏は社外監査役です。
 3. (※)印の取締役は、執行役員を兼務しております。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月開催
 基準日 定時株主総会 毎年12月31日
 期末配当金 毎年12月31日
 中間配当金 毎年6月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 ☎ 0120-782-031

ホームページURL <http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様の、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法

電子公告により、ホームページ(<http://www.senshukai.co.jp/koukokou>)に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部

今後の決算発表予定

第1四半期決算(2018年1月1日~2018年3月31日)
 2018年 4月27日(金)
 第2四半期決算(2018年1月1日~2018年6月30日)
 2018年 7月26日(木)
 第3四半期決算(2018年1月1日~2018年9月30日)
 2018年10月26日(金)

株主優待制度について



株主優待制度 ① 株主優待(年2回)

100株以上所有の株主様に年2回、お買い物券を進呈致します。

対象株主様
 毎年6月30日及び12月31日現在の当社株主名簿に登録された100株以上所有の株主様

<http://www.senshukai.co.jp/main/top/ir/stockholder.html>

株主優待制度 ② 長期保有株主優待(年1回)

1年以上・100株以上保有の株主様に年1回、お買い物券を進呈致します。

対象株主様
 毎年12月31日現在の当社株主名簿に登録された1年以上・100株以上保有の株主様

当社ホームページに「第73期定時株主総会決議ご通知」を掲載しています。
<https://www.senshukai.co.jp/main/top/ir/kabunushi/index.html>



今後も株主様に向けてわかりやすい情報発信を心掛けていきます。

株式会社 千趣会

〒530-0035 大阪市北区同心一丁目8番9号

電話(06)6881-3100 <http://www.senshukai.co.jp>

UD
FONT
by MORISAWA

